

「2014 年度 アクティブ・スチューデント・プログラム」 選考結果

2014 年7月 23 日
甲南大学経済学会

先だって 6 月 5 日付の告知文書にて募集しました「2014 年度 アクティブ・スチューデント・プログラム」には、計 7 件の応募がありました。多数のご応募に感謝いたします。

厳正な選考の結果、「2014 年度 アクティブ・スチューデント・プログラム」に参加するチームとして、以下の 4 チームを決定いたしましたので、ここに公表いたします。

[研究計画名] 日本経済の復活
[チーム名] アベノミクス
[チーム代表者] 11231228 利波 一聖(以下 9 名)

[研究計画名] 虫は世界を救い、人々を幸せにするのか？
[チーム名] ムシのきもち
[チーム代表者] 11231044 岩佐 和弥(以下10名)

[研究計画名] コミュニティサイクル促進計画
[チーム名] 乗り捨て委員会。
[チーム代表者] 11231152 才木 天斗(以下 8 名)

[研究計画名] なぜ私たちは BIG ISSUE を買わないのだろうか
[チーム名] 柘植ゼミ BIG ISSUE 班
[チーム代表者] 11231383 山中 健矢(以下10名)

〔選考基準ならびに総評〕

選考のための審査にあたって、評価の基準としたのは、おおよそ次の5つです。

- (1) 研究テーマとアプローチならびに期待される成果が明確に述べられていること。
- (2) 研究テーマに関して、明確な問いが設定されていること。
- (3) 研究テーマに関する問いに対して、経済学的・科学的な論証に支えられた主張が行われることが期待されるアプローチが採用されていること。
- (4) 研究計画が、現段階で高い完成度をもっているだけでなく、今後の発展性を期待させるに足るものであること。
- (5) 研究テーマの設定とアプローチに関して、独創性があること。

選考により、「2014 年度 アクティブ・スチューデント・プログラム」に参加する2チームを決定する予定でしたが、応募された計 7 件の研究計画がいずれも水準の高いものであったことを受け、慎重に検討を重ねた結果、「2014 年度 アクティブ・スチューデント・プログラム」に参加するチームとして、4 チームを決定することといたしました。

応募された計 7 件の研究計画は、いずれも意欲的であり、また、研究計画をまとめるに至るまでの地道な学習の積み重ねを伺わせる、たいへん質の高いものでした。これからのみなさんの研究の発展を期待しています。

〔問い合わせ先〕 gakkai@center.konan-u.ac.jp

以上